

学力向上に向けた取組

函館市立木直小学校

1 課題

生き生きと表現し、伝え合う子供の育成

2 課題解決の具体策

- 表現力を向上させ、自分の思いや考えを豊かに表現しようとする意欲の向上を図り、共に学び合い、学習の効果を上げる。
- 今年度をもって閉校となる本校の児童一人一人が、統合先の学校においても自信をもって考えを出し合う活力を育み、学ぶ力と自己実現への意欲を高める。

3 取組の概要

- (1) 読書活動の推進
 - ・朝読書の継続(週4回、10分間の読書タイム)
 - ・図書を整備
- (2) コミュニケーションスキルの向上
 - ・人の話をどのように聴くかを具体的に伝える。
 - ・人前で話す経験を多くさせ、自信を持たせる。
- (3) 実生活との関連を重視した問題の活用
 - ・新聞の折込チラシを活用した算数の問題
 - ・キャリア教育の重視

4 成果と課題

- 成果
 - ・少人数による基礎基本の学習を充実させながら、よい話合いのポイント、話合いの進め方、上手な話の聞き方の3つに関する具体的なスキルを明確にした学習活動の展開で、学習態度や学習習慣が育成された。
 - ・メンバーやリーダーとしての役割も具体的に示し、適切な教師の関わり・助言を通して相手への思いやりや協力、学習ルールへの遵守・役割の遂行にかかわる心が育まれた。
- 課題
 - ・どのように耳を傾ければよいか、真剣に聞くあるいはちゃんと聞きなさい等の指示をより具体的で児童が理解しやすいように示すこと。例えば、要約しつつ聞く、批判しながら聞くなど、次のステップ(対話)につながるような聞き方について、学年の発達段階や個人差等に配慮したスキルを明確にしたい。
 - ・学習規律やルールを、マナーやモラルへと規範意識を高めるための実践